

本特集を企画した出発点には、腎不全患者への緩和ケアを、透析の見合わせや中止、人生の最終段階に限られた「特別なケア」としてではなく、日々の臨床にあるケアとして捉え直したいという思いがありました。本企画に携わってくださった先生方の原稿を通して、その思いはより確かなものとなりました。

患者の苦痛を丁寧に捉え、症状を和らげること。語りに耳を傾け、その人が歩んできた人生や大切にしていることを知ること。治療の選択を支え、家族とともに考え、病院から地域、在宅へとケアをつなぐこと。そこには、CKMを選択する患者、透析を見合わせる患者だけでなく、最期まで透析を続けることを望む患者にも共通する看護の本質

が描かれていました。

「その人らしさ」を支えるとは、単に本人の希望を聞くことではありません。その言葉の背景にある価値観や不安、家族との関係、これまでの生活を理解し、変化する思いを繰り返しながら、多職種で共有していくことです。そして、その関係性は特別な場面だけにあるのではなく、日々の対話や観察、ケアの積み重ねの中にあります。

本特集が、読者の皆様にとって、自らの臨床にすでにある緩和ケアを見つめ直し、それを意識して可視化・言語化し、つないで育んでいく契機となれば幸いです。ご執筆いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

(高井奈美)

2026年(Vol. 42)特集のご案内

- | | |
|--|---|
| No.① 患者参加型医療として透析を考える
—SDMとACP | No.⑧ 透析患者の栄養評価と栄養支援—現状と今後の展開 |
| No.② 人工知能を活用した透析医療の最適化 | No.⑨ 求められる腎不全患者の緩和ケアとその人らしさのケア—あるべき姿を再考する |
| No.③ 透析治療システムの生体適合性—基礎的知見から患者報告アウトカムまで | No.10 腎不全：患者・家族と考えるケア(増刊号) |
| No.④ 透析技術の最前線 | No.11 これがすべてだ！HDとPDを比較する |
| No.⑤ 看取りの透析医学を考える | |
| No.⑥ 透析医療と看護師の特定行為—看護師の役割拡大 | (既刊は○) |
| No.⑦ CKD-MBDガイドライン2025を実装する | |

臨牀透析® Vol.42 No.9

©2026年9月10日発行
定価：2,860円
(本体2,600円＋税10%)

- ・2026年 年間購読料(増刊号含む13冊、税込)
冊子版 39,050円
電子版(個人のみ) 39,050円
冊子版＋電子版(個人のみ) 44,550円
(詳しくはホームページをご覧ください)
- ・年間予約購読は前金にて書店あるいは弊社宛お申し込みください。

発行人 増 永 和 也

発行所 株式会社 日本メディカルセンター

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-64 神保町協和ビル

営業直通電話(03)3291-3901(代) FAX(03)3291-3904

編集直通電話(03)3291-3971(代) FAX(03)3291-3377

e-mail dialysis@nmckk.co.jp URL https://www.nmckk.jp

印刷所 シナノ印刷株式会社

・Published by Nihon Medical Center, Inc. ©2026, Printed in Japan

・本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)日本メディカルセンターが保有します。

・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌のコピーやスキャン等による無断複製は著作権法上での例外を除き、禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(☎03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

■広告申込所／株式会社 文栄社 〒113-0033 東京都文京区本郷3-9-5 NK本郷ビル 電話(03)3814-8541